

未来に輝く！ふくしまっ子プロモーション事業

「特色ある幼児教育・保育の推進事業」

PENGUIN NURSERY SCHOOL FUKUSHIMA



ふくしまで海外留学！

～0歳からのダイバーシティ教育～

実績報告

ペンギンナーサリースクールふくしま

ふくしまで海外留学！！

個性あふれる ペンギンナーサリースクールふくしまの子どもたち！！

☆本園の保育理念である、**子ども一人ひとりの「個のちから」をのばすこと**を目指し、下記の教育目標にも、結び付けながら、世界の様々な文化や言葉があることを、肌で感じ取り、共に豊かに生きる姿勢や多様性を受け入れることの大切さを伝えてきました。

- ①健康で元気な明るい子ども
- ②素直でやさしく思いやりのある子ども
- ③愛情にあふれ、感受性と好奇心豊かな子ども
- ④自分で考えて行動し、のびのびと表現できる子ども

☆ペンギンエデュケアプログラム

『子どもは「遊び」の中で育つ』をモットーに、遊びを通して一人ひとりの子どものために、子ども自身が持っているチカラを最大限に伸ばし、外国語を楽しく学んでいけるよう、園内を見直し、環境を整備しました。



♪英語表記の壁面装飾♪

～プロジェクト実施内容～ 福島で海外留学！！

今回のプロジェクトに参加させていただき、コロナ禍の中で交流が限られてしまう中で、どうしたら子ども達が外国語に親しむ活動を楽しめるか、試行錯誤の日々でした。外国人講師の方にも最大限のご協力をしていただき、このような世の中でも、子ども達が今の大切な時期をのびのびと英語に親しむことができました。

☆グローバル教育を視野に入れた保育

2018年、保育指針が改定され、乳幼児の保育内容の記載が充実しました。また、2020年、小学3年生より、『外国語授業』が導入され、5年生から必須科目となりました。大学での英語4技能『聞く』『読む』『話す』『書く』について、**“聞く”“話す”**の分野において広い視野を持ち、これからの世界を柔軟に受け入れ、外国人講師との関わりの中で興味関心に繋げてくために、スタッフ一同、日々の生活の中で、子どもたちの今、そして未来をより意識をしながら、保育するようになりました。



ソーシャルディスタンスを保ちながらの楽しい時間♪

10の姿につなげていく日常生活

本園で0～2歳までを過ごす生活において、身近な環境に主体的に関わり、自分のやってみたいことをのびのびと楽しむ中で、心と身体を十分に働かせ、幼児期から考えるチカラや、工夫したり**challenge**することで達成感を味わえる環境を目指しています。

☆5領域（環境・言語・表現・健康・人間関係）に沿って☆

☆外国語を通した保育やふれあい活動の中で、子ども達に見られた成果や姿の例☆

「星はstar
だよね～♪」

壁面を見ながら...

英語songを歌うことや、ままごと遊びなど、普段の生活の中で、果物や野菜の名前を英語で歌ったり、表現している姿が増えました。

“Apple”

“Cucumber”

“Thank you”

“Oh no!”

遊んでいたブロックが倒れた時...

“Yummyだね♪”

給食中の会話の中で...

家庭においても、園で歌っている英語songや手遊び歌を積極的に取り入れて楽しむお家が増え、いろいろな歌を生活の中で口ずさむ子どもが多くなりました。

二歳児クラスにおいては、一年が経つ頃には、普段の生活や遊びの中で子どもたちから単語や感情表現が自然に聞こえてくるようになり、子どもたちが新しいことをどんどん吸収していくチカラに、驚かされました。

= 取り組みによる子どもたちの 姿や変化 =

☆外国人講師との触れ合いをして
初対面の講師と間近でお会いして、人見知りや緊張
から泣いてしまったり、不安な表情を見せる子ども
がほとんど...



回数を重ねていくうちに、子ども達の表情も明るく
なり、毎回、講師の先生との関わりが楽しみになり、
自ら歩み寄っていく姿が見られるようになってきた。



★主に2歳児クラスにおいては、ENGLISH
SCHOOLや毎日の活動の中で英語の歌をCDで
流したり、歌あそび・リズム遊びを取り入れること
で、外国語が身近にあることが、当たり前環境と
なっており、子どもたちからも会話の中で英単
語などの表現が自然な形で聞こえてくるようになっ
た。



☆講師の先生とのふれあいやリズム遊びを通して、
本場の発音や表現のダイナミックさを肌で感じ取
ることができました。

☆秋には、講師の先生と一緒に、園外散策に出か
け周辺の景色を眺めながら**MAPLE TREE**
(紅葉)など自然の物の名前を教えていただきな
がら、ふれあいを深めることができました。

☆今年で東日本大震災から10年が経ちました。

あの時、フクシマが世界に注目され、たくさんの人に支えられて今の日本があります。

これからの日本を世界へ向け発信していくために、現代社会において情報のツールともなっているSNS等も積極的に活用し、着実に一步一步、前に進んでいることを知っていただき、福島の子どもたちが元気にのびのびと育っている姿を、随時更新していきます。

☆今回の事業を通じて、子どもたち一人ひとりが、自分の感性を周囲に伝える表現力が豊かになったことを実感しています。

3歳になると園から巣立って行くペンギンの子どもたち。本園での取り組みが、次に繋げる土台となり、子どもたちの転園先において、外国の文化や言葉が身近にある環境であっても、より生き活きと積極的に順応していけるのではと大きな希望を持っています。

これからも園の方針の一つでもある多様な人と人との創るダイバーシティ保育園をより一層目指し、子どもたちにより良い保育環境を提供していきたいと思います。